

会長 あいさつ



甲州街道蕎麦宿にほど近いイタリアンレストランにて
(長野県諏訪郡富士見町)

とうほく街道会議の会長、宮原育子です。

平成 9 年に東京から仙台に来て、23 年がたちました。この間、東北の道路整備は目覚ましい進展を見せてきました。各地に高速道路が延伸し、東北各地を短時間で移動できるようになりました。

こうした時代になっても、東北の街道は多くの人々に歩かれ、愛されています。

街道の魅力とは、何でしょうか。沿道の移り変わる美しい風景や、宿場町の町並みや寺社に心を躍らせる方、街道を駆け抜けた歴史上の人物やその物語に思いを馳せる方、地域の名物料理や美酒を楽しみにされる方など、実に多様です。街道は自分たちの足で歩き、

沿道の風景、歴史を感じ取る体験型のタイムマシンかも知れません。

とうほく街道会議は、そうした街道の魅力を発掘し、楽しむ方々の研究会や探訪会などさまざまな活動のプラットフォームとしての役割を果たすべく、情報発信や各種行事開催などに努めています。

とうほく街道会議の主要な活動は、東北各地域を回っての街道交流大会の開催です。これまで 16 回の街道交流大会を開催してきましたが、新型コロナウイルス禍の中、昨年に引続き宮城県富谷市で今年度(令和 3 年)も「富谷宿大会(その 2)」として開催する予定です。

とうほく街道会議は、これからも街道に関わる多様な活動を通じて東北はもとより、全国各地の街道仲間と情報交換や交流を進め、皆さんとともに歴史の宝物を次世代に手渡していく活動を続けてまいります。何とぞご支援、ご協力のほどをお願い申し上げます。

令和 3 年 12 月

とうほく街道会議
会長 宮原育子

【会長プロフィール】

東京都生、山形県高島町在住。(両親は青森県出身)

11 年間旅行会社に勤務した後、1990 年明治大学二部文学部史学地理学科卒業、1992 年東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程終了、1997 年東京大学大学院理学系研究科地理学専攻博士課程修了。

1998 年宮城大学事業構想学部助教授、2007 年同大学事業構想学部・大学院事業構想学研究科教授を経て、2016 年宮城学院女子大学現代ビジネス学部長を経て、現在宮城学院女子大学現代ビジネス学部教授。

専門: 地理学。旅行事業、地域交流事業。地域資源論。地域資源の掘起こしを通じ、地域が取り組むことが可能で持続的な交流型の観光振興について研究。

学外等活動: 東北地理学会前会長、日本ジオパーク委員会委員、河北新報社「仙山カレッジ」座長や、国土交通省東北地方整備局・東北運輸局、宮城県、山形県、仙台市の各種委員会など多数の要職を務め、専門や研究テーマを生かして東北各地で活動している。またこれまで、とうほく街道会議第1回交流会・秋田大会を初め、第2回(福島)、第4回(仙台・宮城)、第10回(関山街道)、第14回(山形大会)、第16回(富谷宿大会)の各大会のパネルディスカッションのコーディネーターを務めている。

著書: 『東日本大震災復興研究 I ~ V』(共著)、『南三陸・仙台湾地域のジオツアーガイド-東日本大震災による災害遺産を通じて自然の驚異を理解し防災を学ぶ-』(共著)、など。